

# 令和6年度 生活支援体制整備事業

## 第1層協議体作業部会 報告書

～心をつかみ、つながりを生み出す場所づくり～



令和7年2月

西条市 介護保険課

## はじめに

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を迎えた現在、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」の推進、進化がさらに重要な課題となっています。

地域包括ケアシステムは、様々な地域の課題の中で、それぞれの地域の特性に沿って作り上げていくことが重要です。そのためには、4つの助と呼ばれる自助（自身や家族による対応）、互助（ボランティアや地域住民の支援及び取組み）、共助（介護・医療保険制度の給付）、公助（介護保険・医療保険の公費や自治体等が提供するサービス）を関係者がしっかりと理解し、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

地域の中における「4つの助」を繋ぐコーディネート機能を持つのが生活支援コーディネーターです。生活支援コーディネーターは人々と交流しながら地域の輪を広げていくことに日々努めています。近年は地域包括支援センターと公民館の連携に力を入れており、公民館の声を聞くことも多くなりました。公民館は社会教育の場としての各種教室や講座の開催のほか、イベントやサークル活動などの地域住民の交流の場として親しまれています。

そのような中、「人が集まってくれるような企画が思い浮かびにくい」「企画を開催してもなかなか人が集まらない」などの悩みもよく聞かれます。これらの課題は介護予防事業を推進している地域包括支援センターも同様です。

そうした背景を踏まえ、せっかく企画するのであれば地域のニーズに合ったもの、そして地域の人々の参加意欲を掻き立てるものを実施したいものです。

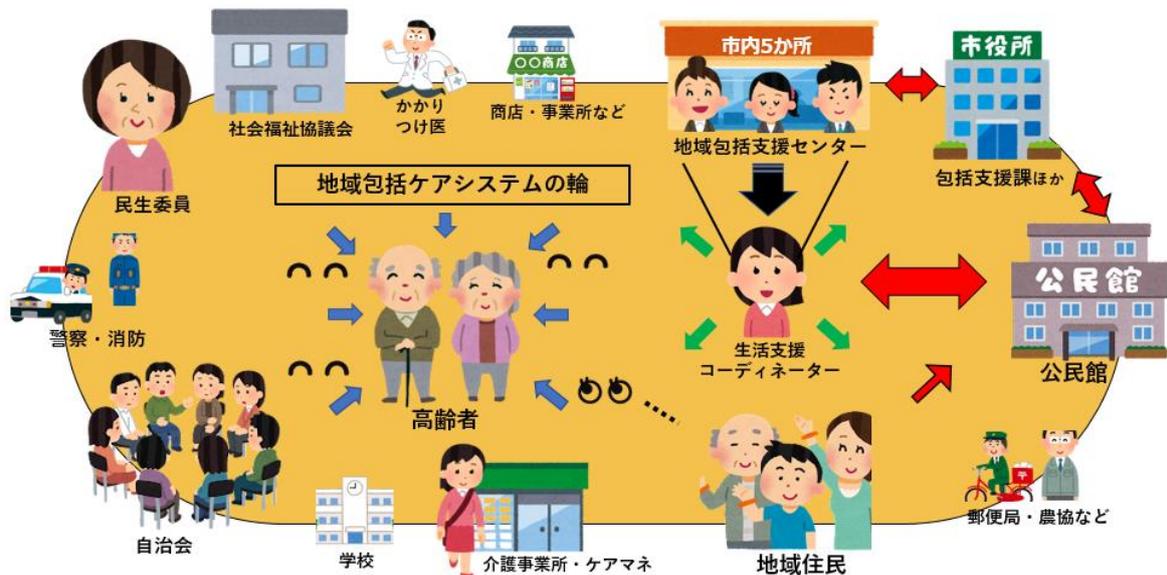
今回も、生活支援コーディネーターや市内の公民館関係者が参加し、地域包括ケアシステムの一員として交流を深めました。同じ課題を抱える者同士のつながりを強めることで、これまで以上に協力し、お互いの長所を生かしていきたいと考えています。

高齢者をとりまく様々な課題の解決には、地域の皆さんや関係団体との緊密な連携が欠かせません。多くの課題がある中で、私たちのまちの「地域包括ケアシステム」の実現を目指し、協働の輪を広げていくことが求められています。

# 目次

1	はじめに	・・・	1
2	実施要領	・・・	3
3	参加者	・・・	4
4	研修のかたち	・・・	5
5	取組内容	・・・	6
6	今後のアクション	・・・	16
7	参加者の感想	・・・	16

## <地域包括ケアシステムの輪>



## 2 実施要領

### (1) 研修テーマ

心をつかみ、つながりを生み出す場所づくり

### (2) 経緯

生活支援コーディネーターが地域に出向き、情報を得る中で、「地域の人に興味を持ってもらえるような企画が浮かばない」、「教室を開催してもなかなか人が集まらない」、「協力してくれる人材が見つからない」等々、地域を盛り上げようとしてもなかなか上手くいかないといった声が聞かれた。

せっかく企画するのであれば、地域住民と一緒にあって、地域のニーズに合ったもの、地域の人がちょっと足を運んでみようと思うものを開催したい。そこで本研修では、どのような場所であれば人が集まるのか、「魅力ある場所づくり」について検討する。

### (3) 日程・内容

11月6日(水)、12月4日(水)、12月26日(木) いずれも13:30~15:00

内容：各回ともグループワーク、取組まとめ

### (4) 講師

日野 志織 氏 (ファシリテーター)

### (5) 参加者

- ・地域包括支援センター (第2層生活支援コーディネーターほか)
- ・公民館 (館長、主事、地域づくり支援員ほか)
- ・介護保険課 (第1層生活支援コーディネーター、介護予防係ほか) 全51名

### (6) その他

- ・報告書を作成し、3月の西条市地域包括支援センター運営協議会等で報告する。
- ・昨年度から引き続き、市内公民館と地域包括支援センターとの連携を開始したことから、本取組を通じた職員同士の交流を図ることも目指し、公民館への参加案内を行う。

### 3 参加者

※ SC=生活支援コーディネーター

所 属	役 職	氏 名
地域包括支援センター北部	センター長・第2層SC	
地域包括支援センター北部	保健師	
地域包括支援センター南部	第2層SC	
地域包括支援センター南部	主任介護支援専門員	
地域包括支援センター西部・小松	センター長	
地域包括支援センター西部・小松	第2層SC	
地域包括支援センター東予	第2層SC	
地域包括支援センター東予	第2層SC	
地域包括支援センター丹原	第2層SC	
地域包括支援センター丹原	看護師	
西条公民館	主事	
玉津公民館	地域づくり推進員	
神拝公民館	主事	
飯岡公民館	主事	
大町公民館	館長	
神戸公民館	主事	
加茂公民館	館長	
氷見公民館	主事	
橘公民館	地域づくり支援員	
禎瑞公民館	主事	
禎瑞公民館	主事	
大保木公民館	館長	
小松公民館	主事	
石根公民館	主事	
石根公民館	主事	
中央公民館	主事	
中央公民館	主事	
吉井公民館	主事	
周布公民館	主事	
多賀公民館	館長	
壬生川公民館	主事	

壬生川公民館	主事	
国安公民館	主事	
吉岡公民館	館長	
三芳公民館	主事	
庄内公民館	主事	
楠河公民館	主事	
丹原公民館	主事	
丹原公民館	主事	
丹原公民館	館長	
徳田公民館	館長	
徳田公民館	主事	
徳田公民館	主事	
田野公民館	主事	
中川公民館	主事	
桜樹公民館	主事	
介護保険課	副課長兼介護予防係長	
介護保険課	介護予防係	
介護保険課	介護予防係	
介護保険課	第1層 SC	
社会教育課	課長	
		計 51 名

#### 4 研修のかたち

各地区（圏域）に分かれ、グループディスカッションを中心に進めました。

グループ名	地 区
北部	玉津・西条・神拝
南部	飯岡・大町・神戸・加茂・市之川
西部・小松	氷見・橘・禎瑞・大保木・小松・石根
東予 A	中央・吉井・周布・多賀・壬生川
東予 B	国安・吉岡・三芳・庄内・楠河
丹原	丹原・徳田・田野・中川・桜樹

## 5 取組内容

### 1 回目

第1回目の研修会では、まず、昨年度実施した合同研修「高齢者に向けた情報発信を考える～地域の高齢者や家族が欲しい情報とは～」を紹介し、振り返りをおこなった。

その後、グループに分かれての自己紹介、地域の紹介、特色や強み、課題などについて話し合い、共通する課題や新たな強みを発見するきっかけづくりをおこなった。

#### ① 当日の様子



－グループディスカッションと発表の様子－

## 1 回目

### ② 第1回まとめ(抜粋)

#### ア 各地域の紹介(地域の強み)

- ・文化祭や盆踊り大会など異年齢交流や地域行事が盛ん
- ・地域住民同士の連携が強い
- ・元気な人が多く、人があたたかい
- ・地域全体で小学校に関わっている
- ・単身世帯が多い
- ・柿、キウイなど果物が豊富でおいしい
- ・ハッチョウトンボの生息地
- ・和紙や祝太鼓、とうど祭りが盛ん
- ・ジャンボ草履、ジャンボ門松
- ・祭りが盛ん
- ・健康や運動、コーラスなどのサークルが人気。特に卓球が人気

#### イ 日頃課題に感じていることや、悩み

- ・公民館利用者及びイベントや教室の参加者固定化、人が集まりにくい
- ・地域の役職が特定の人に偏っている
- ・男性参加者が少ない
- ・人口の減少、子どもの減少、高齢化
- ・婦人会や老人会が解散
- ・市民の高齢化により、公民館への来館が難しい(交通手段の問題)
- ・若年層の公民館利用促進
- ・組織の横のつながりが薄い
- ・イベントや講座など、内容のマンネリ
- ・子育てや介護の悩みなど相談に乗ってもらえる場所になるといいのでは

#### ウ その他の意見

- ・公民館(施設)の老朽化
- ・駐車場が少ない

## 2回目

第2回目の研修では、以下の3つをテーマとし、それぞれグループディスカッションをおこなった。

- ① 自分だったら、どんなイベントや教室に参加したいですか？
- ② 地域の方は、どんなイベントや教室に参加したいでしょうか？
- ③ イベントや教室を一緒にするとしたら、どんなものがいいでしょう？



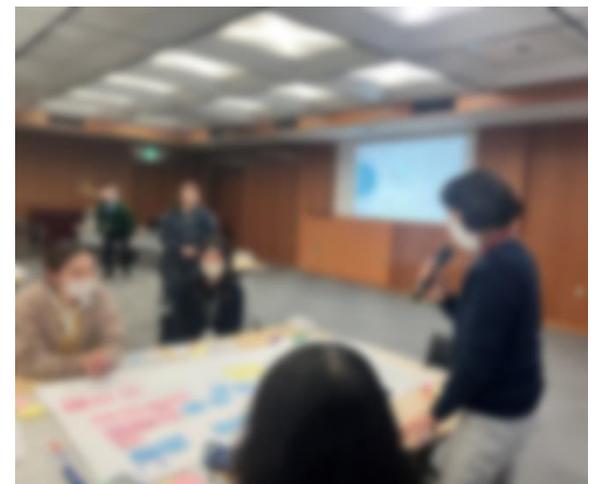
-日野 志織 氏 (ファシリテーター) -

### ① 当日の様子



-全体会の様子(2回目)-

2回目



—グループディスカッションと発表の様子—

令和6年12月4日(水)

## 2 回目

### ② 第 2 回まとめ (抜粋)

#### ア 自分だったら、どんなイベントや教室に参加したいですか？

- ・有名アーティストの音楽イベント
- ・家族や子ども、友人と楽しめるイベント
- ・お土産がある
- ・無料
- ・料理教室
- ・キッチンカー
- ・ものづくり
- ・マルシェ
- ・男の料理教室
- ・サウナ
- ・映画鑑賞
- ・美容に関するイベント

#### イ 地域の方は、どんなイベントや教室に参加したいでしょうか？

- ・多世代交流イベント
- ・1人でも参加できるイベント
- ・徒歩または自転車でいける場所でのイベント
- ・ご飯(お菓子)が食べられるイベント
- ・無料
- ・送迎付き
- ・お土産がもらえる
- ・地域のことを学べる
- ・音楽鑑賞
- ・映画鑑賞
- ・軽スポーツ
- ・体を動かす
- ・初心者麻雀
- ・そば作り

#### ウ イベントや教室を一緒にするとしたら、どんなものがいいでしょう？

- ・景品がもらえるビンゴ大会
- ・軽食付き交流会
- 料理教室
- ・盆踊り大会
- ・体操や運動のイベント
- ・スポーツ大会
- ・軽スポーツ
- ・ダンス教室
- ・朝ヨガ
- ・太極拳
- ・ウォーキングで花見
- ・多世代交流イベント
- ・だんじりやおみこしが出るイベント
- ・SNS 講座
- ・地域ネタを含めた落語、お笑いライブ
- ・リトミック
- ・脳トレ
- ・終活

### 3 回目

第3回目の研修ではこれまでの研修を踏まえて、企画テーマの検討をおこなった。

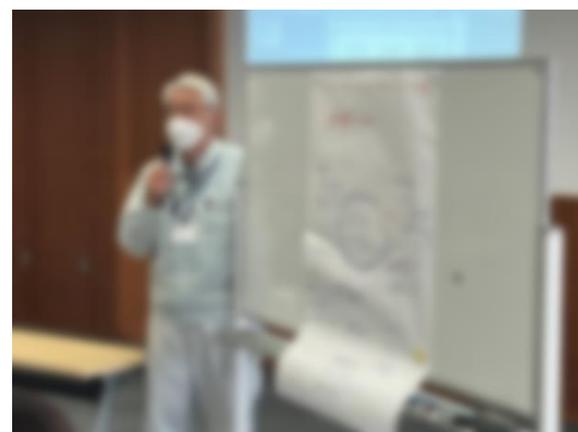
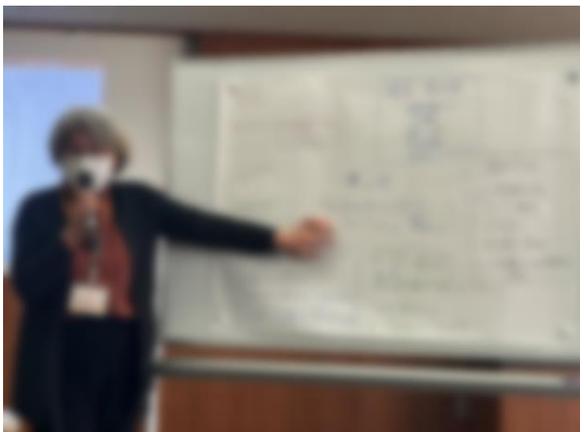
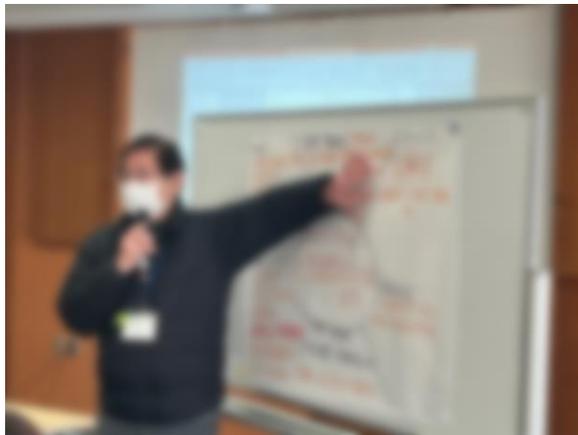
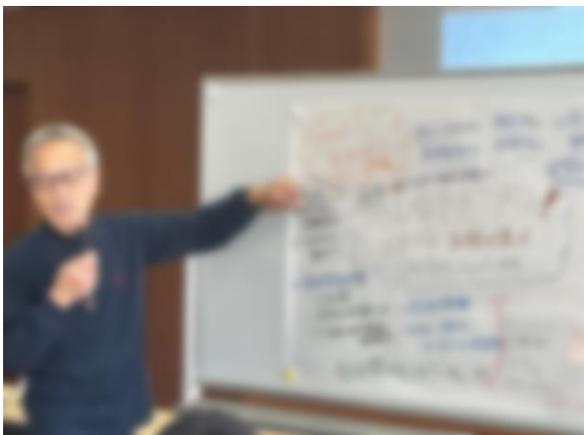
どのようなイベントや教室には人が集まるのか、新規のイベントや教室または既存のものを発展させた形にするのか、それぞれの経験や想いを共有しながら、大きな鷺子用紙をテーブルに広げ、それぞれのグループが思い思いに企画を練った。

#### ア 企画書を作ってみよう

グループごとに作られた企画書のテーマ：

- ① みんなでドンドコ！たたこう太鼓の達人
- ② かがやきコンサート
- ③ 体験 みんなで体を動かそう
- ④ みんなのカフェ
- ⑤ コミュニティー5 合同囲碁ボール大会 2025
- ⑥ 地域の特性を生かした3世代交流!!～みんなが主役で楽しむ!!～

### 3回目



—グループディスカッションと企画発表の様子—  
令和6年12月26日(木)

3回目

3世代  
交流イベント  
1000公民館

おじいちゃん おばあちゃん  
お父さん お母さん  
小学生 中学生  
幼児さんOK!

県スポーツ協会指導!!

無料  
みんなでドンドコ!  
たたき太鼓の達人  
3世代交流のスポーツ事業

おじいちゃん  
おばあちゃん  
みんなで楽しく  
介護予防!  
ゲーム好きの子  
集まれ!!

協同企画事業  
公民館  
地域を応援  
〇〇地区社会福祉協議会  
〇月1回開催  
〇半年に1度の  
トナリ大会  
協加賞はもりだくさん!!

ホームページ  
閲覧板  
QRコード  
口コミ  
学校のおたより

<p>目的</p> <p>地域のつながりを広げる</p>	<p>運営・協力者</p> <p>包括支援センター 公民館 婦人会 民生委員 地域のボランティア</p>
<p>ターゲット</p> <p>高齢者 + 多世代</p>	<p>テーマ</p> <p>「かがやきコンサート」 レモンハナ（包括から）</p>
<p>内容</p> <p>懐かしい歌を みんなで歌おう+座談会 お茶・お菓子（お菓子パティ 地域協力者から）</p>	<p>時間・場所</p> <p>年1回 第2金曜日午前10:00~ 公民館ホール (席：会場内、公民館職員) 30名程度</p>
	<p>周知方法</p> <p>公民館だより チラシ配布 ポスター 包括で周知 公民館サクルム読者会 周知</p>

- 参加者のアイデアが書き込まれたグループ別の模造紙 -

### 3回目

大保木・橘・永見・禎瑞・小松・石根

## 西部・小松

<目的>

- ・三世代交流
- ・健康づくり

<ターゲット>

- 三世代

<内容>

- ◆軽スポーツ体験 ◆食事
- ・囲碁ボール
- ・シッフルボード ◆お土産
- ・ジェンカ
- ・ホッチャ
- ・モルック
- ・ラダーゲッター
- ・ホルダリング

<協力者>

- ・スポーツ推進員
- ・高校生<sup>移</sup>移<sup>ア</sup>
- ・シニアクラブ
- ・キッチンカー

<周知方法>

- ・公民館だより
- ・チラシ
- ・ポスター
- ・マチコミメール
- ・市報

みんなこい 体験  
体と動かそう

<時間・場所>

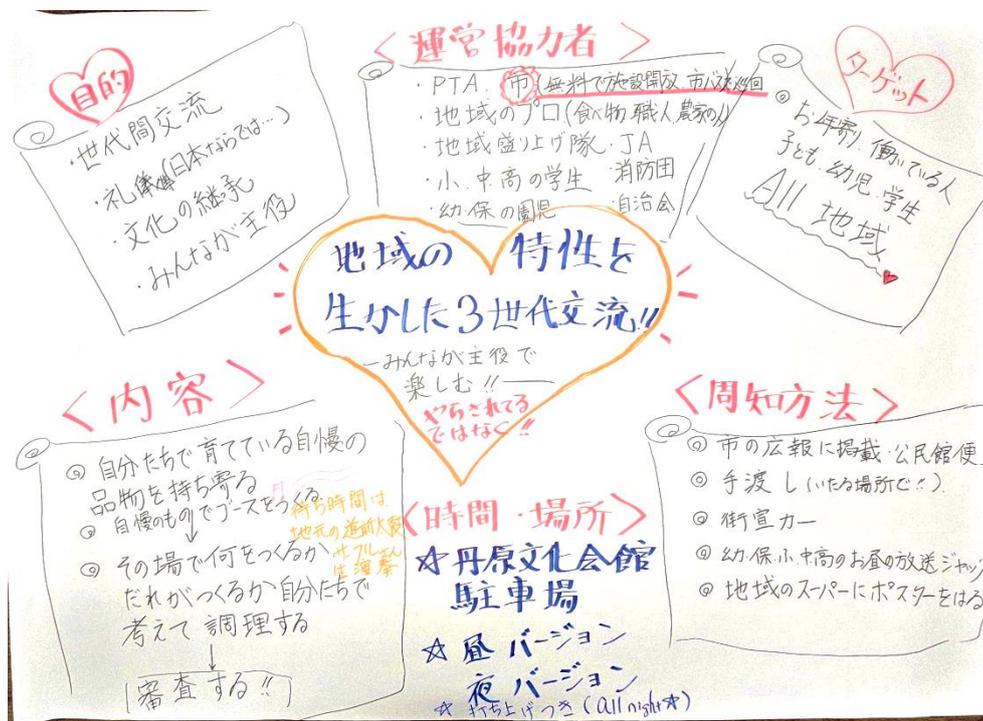
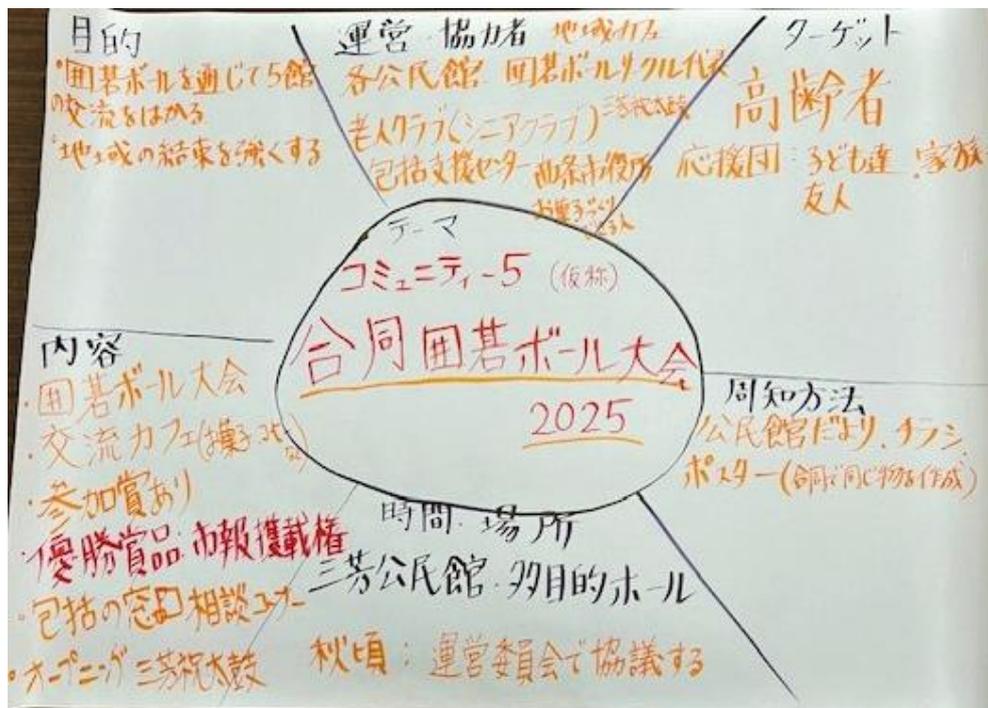
9時～14時  
西部公園

## テーマ みんなのカフェ

目的	3世代の交流の輪を作る。 乞拵と公民館の活動 周知につなげてい!	運営・協力者	・公民館 ・サークル ・ボランティア ・講師 ・乞拵
ターゲット	高齢者 成人 子供 (どなたでも)	周知方法	チラシ(かみいびつおき。カーで。スーパーに 貼らせてもらう) ロコミ(シニアクラブ、米館者)
内容	脳トレ・体操・終活セミナー 昼食作り・お菓子作り 手芸 (お土産つき)	時間・場所	時間: 10時～15時 場所: 公民館 集会所

- 参加者のアイデアが書き込まれたグループ別の模造紙 -

3回目



- 参加者のアイデアが書き込まれたグループ別の模造紙 -

## 6 今後のアクション

### ① 公民館と地域包括支援センターの共催事業の推進

今回の研修で立案された企画書をもとに、積極的な協働を図りながら、共催事業（新規事業または既存事業の発展）の実現を目指していく。

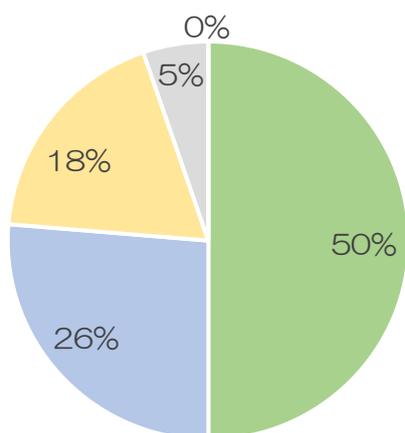
### ② 研修等を通じた交流

地域包括支援センターと公民館とが交流を図り、親しい関係性を築くことで、地域包括ケアシステムの一員としてさらに連携を深めていく。

## 7 参加者の感想（実施後アンケート）

### （1）参加者の満足度について

※ 7割以上の参加者から肯定的な回答を得た。



回答内容	人数	割合
よかった	19	50%
どちらかといえばよかった	10	26%
普通	7	18%
どちらかというとよくなかった	2	5%
よくなかった	0	0%
合計	38	100%

### （2）研修会に参加してよかったと感じたことを教えてください。（抜粋）

一緒に作業することで仲良くなりました。そのため、電話連絡をしても話しやすくなりました。

研修を通して包括支援センターの方と深くかかわりあえたことで、今後、事業の協力などお互いに依頼しやすい関係が作れました。各館の課題を共有することで解消のためのアイデアや情報をいただきました。

近隣同士でも、なかなかじっくり話す機会もないため、初めて会う主事さんとお話できたり、講座や館の状況について情報交換ができたこと。

普段からお世話になっている公民館さんとたくさんお話することができて、地域の特色や公民館の要望も聞くことができたので今後の活動に活かすことができました。実際に協働で企画、実施に至りました。ありがとうございました。

<p>課題はどこも同じような課題だったな～というのが印象深く、他の公民館と包括支援センターと1つの企画に向けて話し合うことで、新しい可能性も見えてきました。1つの公民館だけでなく、近くの公民館同士でのイベントや交流も視野に入れて、今後のことを考えていけるなと感じました。</p>
<p>近隣の公民館の職員さんとのグループワークで、地域の良さや公民館活動の状況・課題や問題点など、情報共有することができた。『知らないこと』から→『もっと知りたいという気持ち』に変わった。</p>
<p>普段なかなか顔を合わせて話す機会がなかった同じ地区の公民館職員の方や包括支援センターの職員の方と研修を通して、様々な意見や交流ができたことと、実際に実現したい内容について話し合いができたことがこれからの仕事へのモチベーションも上がり、色々な可能性が広がったと思う。</p>
<p>地域包括支援センターの管轄する地域ごとのグループワークだったので、交流ができてよかった。3回目の研修会では、実現できそうな企画書ができ、合同で話し合うことができたので、非常に良かった。</p>
<p>あまり交流することがない他の公民館の職員と交流できたことはよかった。3回目とも同じメンバーだったので、他の公民館の職員との交流もしたかったです。</p>
<p>近隣の公民館との情報交換や、公民館が複数協力してイベントを開催する方法もあることが分かりよかった。また、包括支援センターにイベントに協力してもらうことも出来ることが分かったのがよかった。</p>
<p>公民館での行事や公民館の職員さんとゆっくり話すことができてより一層、信頼関係が持てた。情報交換することで、少し協力したり力を出すことでお互いにやりたいことが現実に見えるように感じた。各地域の特性やその地域の強みなどを知ることができた。</p>
<p>包括支援センターや他の公民館の取り組みや意見&amp;考え方が聞けて、大変役に立つ研修だった。普段はあまり接することのない包括支援センターの方と繋がりができてよかった。</p>
<p>顔が見える関係が築けたと思います。</p>
<p>圏域の公民館の館長さん、主事さんから、地域の情報をいろいろお聞きすることができ、また包括の情報も共有して頂くことができました。包括と公民館が協力して地域を盛り上げていきたいという前向きな気持ちを持つことができました。このような機会を設けて頂きありがとうございました。</p>

### (3) 改善点などがあれば教えてください。(抜粋)

公民館の館長・主事合同会の時に研修として組み込めば、参加者は増えると思う。
開催日はもう少し早い時期が良かった。次回は民生委員さんなども参加するともっと具体的につながりを持つ場所づくりのアイデアが聞けるのでは? ないかと思う。日野さんの進行最高です。楽しく活発に意見交換できました。
11月はイベントや会が多い時期ですので、できれば外していただきたいです。
3日間の開催はいろいろな意味で少し負担に思った。時間も午後にするなら15時~17時くらいまでを希望。
3回目は年末過ぎたと思います。あと、1人の主事が3回出席となるとスケジュール的に負担になりました。
西条市も広いので、全館一斉にやる必要があったのかは疑問です。旧西条市は市役所で、旧東予丹原は中央公民館でやって頂けたら参加しやすいと思います。また、日程についても、うちの公民館は2月に文化祭をやるので、年末はもう準備に入っていて忙しいのでやめてほしいです。
全3回は多いので、結局毎回違う職員が参加している公民館が多かったと思います。全2回にしたら同じ職員が続けて参加しやすいし、間隔ももう少し詰まるので余計な説明もいなくなるし、前回の話を活かした話合いができるので、タイムパフォーマンスがいいと思います。
主事会の日程に合わせる。各地域包括支援センターの地域単位で開催。
もっと早く開催日程の予定を組んでくれていたら、他の行事と重ならず参加できたと思う。公民館は、定期的な行事や臨時的な行事(人権・同和)があり年度当初から予定が決められている。
館長会、主事会で、短時間でよいので、毎回包括の実践事例等、公民館が知っておくべき内容等について説明してはどうか。
みなさんお忙しい中ですがもっと交流したかったな、お話したかったなと思ったので、回数を増やして頂けると嬉しいなと思いました。今回私は初めて日野さんにお会いさせて頂いたのですが、とっても気さくないいお方だなと思いましたので、次回も日野さんにお会いできると嬉しいです。
研修案内の表題が堅苦しく勉強会のような雰囲気を感じていましたが、参加してみたら活発で楽しい研修でした。自己紹介を毎回するのが良かったです。回を重ねるたびにお互

<p>いを知れて親睦が深められたと思います。ファシリテーターの日野さんがとても素敵でした。ありがとうございました。</p>
<p>今後も継続開催が望ましいと思います！</p>
<p>公民館だよりの納品前の日程だと参加が難しいかもしれないので、今回のような日程であれば、業務にさしつかえなく参加しやすいと思います。業務の都合や、公民館の配置人数のこともあり、同じ人が続けて参加するのが難しいのかもしれませんが、できるだけ、3回とも同じ人が研修に参加するのがいいと思いました。</p>

**(4) 来年度、同様の研修会を開催するとしたら、どんなテーマがいいと思いますか。(抜粋)**

<p>健康でいきいきと暮らせる地域にするために。地域の高齢者が抱える困りごとを解決するために地域包括支援センターと公民館ができること…など。</p>
<p>包括支援センターの業務や高齢者福祉に関する内容等について、基礎的な理解が十分にできるような会にしてほしい。</p>
<p>公民館に相談に来られた場合の事例対応、注意点など</p>
<p>イベントや行事に参加したくても来られない方のためになにができるか、など。(交通手段がない→送迎?)</p> <p>逆に、参加したくない、関わりたくない人の気持ちをどう動かすか。</p>
<p>「地域活性化事業」を計画するためにどんな取り組みが必要か。</p>
<p>地域課題を明確にできて、実践を持ち寄り、方策を検討するようなテーマ</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おひとり住まいの高齢者の方へのサポート(アプローチ)の仕方</li> <li>・介護保険サービスとは</li> <li>・西条市の高齢化社会の現状と福祉について…</li> </ul> <p>「どうなる?西条市」ではなく、「こうなる!西条市の未来」について考えたいです。</p>
<p>子供を巻き込んでなにかするのではなく、地域には 80 代の高齢者だけでどのようなことができるか</p>
<p>男性が参加したいと思う集いの場について</p>
<p>市民が参加しやすいイベントや講座を行うための工夫について、市民に役割を持たせたイベントがいいと公民館新人研修で聞いたので具体的にどんな役割をもたせたらいいか</p>
<p>世代交流の場を作る</p>
<p>とりまとめはいらないが、テーマを決めずにざっくばらんの会話の中に、いい意見がある</p>

と思います。
実際に、包括支援センターと連携が上手くいっている所にどんな風に連携しているか発表してもらい、それについて自身が所属する公民館で取り入れられそうかなどを話し合う。
魅力ある場所作りが現実になるように、どこまで各団体(市・公民館・包括など)の協力が可能なのか？を見える化する。具体的なテーマが良い。
この研修を通じて開催された行事、大会の成功事例を報告して頂き、他の地域への展開を検討していく。

**(5) その他、公民館と包括支援センターとの連携について気づいた点など。(抜粋)**

小さい公民館ですので、公民館で知り得る情報は、全てお出ししますので遠慮なくお尋ねください。ただし、公民館の情報なんてどれほどでもないです。もっと情報収集の輪を広げる手法も必要だと思います。
今のままで連携ができています。
東予の包括支援センターがどういったことをしているのか、もっと教えてもらえれば連携できることが見えてくると思う。
包括支援センターの周知も広がってきているので、今後も公民館や地域住民さんと連携を持っていきたい。お互いに協力することで、できる活動も増えるのでどんどん協力して地域を盛り上げていきたい。
もう少しざっくばらんに話せる交流会などを開催して意見の出しやすい場所、雰囲気作りをする。全体に硬いイメージがあり、良い意見、悪い意見も出にくかったのではないかと思っています。
まだまだ連携できる場所があると思うのでじっくり考えていきたい。
顔合わせなどもなく、最低限の連携もできていません。
連携をしてくださいと言われても、何もないとなかなか連携は取りにくいです。まずは顔の見える関係作りからだと感じました。
各圏域に分かれての研修でしたが、各地区の包括支援センターが公民館と連携してどのような活動をしているのか内容等知りたかったです。そもそも包括支援センターはどんなことをしているのか、詳しく知らない部分もたくさんあります。
包括支援センターの方が、(公民館より)地域の方に溶け込まれていて、感服します。地域の方の声を包括支援センターにつなぐことには何ら異議はないのですが、“連携”って何だろう、とふと考えます。

包括支援センターとのコラボイベントの開催を計画しておりますが、次年度も継続開催を予定しております。そのため、打合せの時間を確保したい。

近くに家族がお住まいの高齢者の方は、サポートしてくれる人がいるので安心ですが、家族が遠くにいて独り暮らしの高齢者の方が、病気になった時や長期入院の際の身の回りのことなどで、困っている話を耳にします。どこの窓口で相談すればよいのか…私自身がまだよく理解できていません。また色々と教えていただきたいです。地域の高齢者の方も利用できるサービスがあることを知らないと思うので、協力して情報発信できるようになればいいなと思いました。

この2者だけでなく、介護施設や子育て支援、民生委員、学校など課題解決に必要と思われる人材を集めることも必要か。

公民館職員は福祉や介護については、全く無知です。そこに、包括支援センターの窓口をせよというのは、無謀な感じがしますが？

丹原地区は、日頃から連携をしたイベントや事業を進めることができているので感謝しています。さらに、地域の人が望む地域力を上げる事業を仕掛けていきたい。

包括支援センターの職員さんが、他の公民館等の情報を提供してくれるのでありがたいです。アシストメイトさんが活躍してくれるので、共催の行事は助かっています。

公民館と包括支援センターとの連携や協働について、立場や職域、歴史のちがいなどから対等の立場ですべてを行うことは困難ではないか。公民館主導で包括がサポートする、一端の手伝いをするというくらいがちょうどいいのでは。

業務の連携について、必要不可欠なものとしてないものについて、明確に理解できていない。

以上



令和6年度 生活支援体制整備事業  
第1層協議体作業部会報告書

令和7年2月

発行 西条市福祉部介護保険課

〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷164番地

TEL : (0897) 56-5151 内線2349